平成２６年度「めざす成果」施策評価シート

６－１－１　生涯学習に取り組む人が増えている

総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	いつでも学べる場と機会を充実する
	めざす成果	生涯学習に取り組む人が増えている
		様々な学習機会が提供されることにより、生涯学習に取り組む人が増えています。

◎所管部長：文化スポーツ部長　金子 正美

（単位：千円）

総事業費（予算）	H23	H24	H25	H26
	232,450	217,083	206,577	972,185

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）

めざす成果	施策の展開	取り組み内容	事業名	担当課
6-1-1 生涯学習に取り組む人が増えている	6-1-1-1 ①③ 市民の間での生涯学習活動を活発にする	市民が、生涯学習に関する情報を得られたり、相談できたりする場をつくる	生涯学習情報提供・学習相談事業	生涯学習センター
		② 生涯学習を気軽に行える機会を提供する	講座等開催事業	生涯学習センター
			市民大学事業	生涯学習センター
			出前講座「どこでも講座」事業	生涯学習センター
			社会教育啓発事業	生涯学習センター
			総合学習事業	図書館
			視聴覚ライブラリー管理運営事業	図書館
		市民の学習活動に必要な施設を確保する	生涯学習センターホール施設維持管理事務	生涯学習センター
			学習センター施設維持管理事務	生涯学習センター
			学習センター施設整備事業	生涯学習センター
			学習センター会議室等貸出事務	生涯学習センター
			生涯学習センターホール貸出事務	生涯学習センター
			新生涯学習センター施設整備事業	生涯学習センター
			特別教室開放事業	生涯学習センター
		市民、団体の生涯学習活動を促進する	社会教育関係団体登録・育成事業	生涯学習センター
			PTA連絡協議会支援事業	生涯学習センター
			地域文化振興事業	生涯学習センター
			教育委員会褒章事業	教育総務課
		市民が身に付けた知識や経験を地域の中で活用できるようにする	生涯学習情報提供・学習相談事業（再掲）	生涯学習センター
	6-1-1-2 効率的、効果的な生涯学習施策を展開する	市の生涯学習を振興するための推進体制を整える	生涯学習総合推進事業	生涯学習センター
			社会教育委員会議運営事務	生涯学習センター

（単位：千円）

主要な事務事業の内容（裏面に続く）	事務事業名	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額
		法令等の義務	実施手法		財源構成
	事務事業の目的				
	生涯学習情報提供・学習相談事業	3,033	3,071	2,968	3,080
		有	直営・委託		一財
	市民の生涯学習活動を支援します。				
	講座等開催事業	6,281	6,501	6,576	7,053
		有	直営		一財
	生涯学習に取り組む機会を提供します。				
	生涯学習センターホール施設維持管理事務	17,195	14,093	13,280	14,237
		有	直営		他・一財
	生涯学習センターホールの安全かつ快適な施設環境を保持するため、施設の維持管理と改善に努めます。				
	学習センター施設維持管理事務	149,787	154,666	155,143	184,786
		有	直営		他・一財
	学習団体の活動拠点となる学習センター（５館）の安全かつ快適な施設環境を保持するため、施設の維持管理と改善に努めます。				
	学習センター施設整備事業	2,162	27,148	8,278	0
		有	直営		一財
	施設の適正な機能水準を維持し、学習環境の向上を図ります。				
	特別教室開放事業	10,311	10,291	9,825	10,909
		有	直営		一財
	生涯学習とコミュニティ活動の場を提供します。				

［注釈］
＜法令等の義務＞　法律または政省令による事業実施根拠の有無
＜実　施　手　法＞　直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り
＜財　源　構　成＞　一財：一般財源　国：国庫補助金等　県：県費補助金等　市：市債　他：その他特定財源

これまでの成果

・市民のいつでも学べる場を充実するため、平成24年度には、桜丘及びつきみ野学習センターにおいて、エレベーター施設の改修工事を行ったほか、安全維持に必要な修繕を行いました。
・市民のいつでも学べる機会を充実するため、生涯学習推進計画に基づき、市民のニーズに対応した講座等や地域学習交流事業の開催、より身近な場で学習活動ができるよう、小中学校９校で特別教室開放を実施しました。
・図書館では、小学生対象の施設見学や中学生対象の職業体験の受け入れ、教職員の異業種体験研修及び図書館司書資格取得のための実習生を受け入れました。
・地域の子ども向けの映画会を開催する方などを対象に１６ミリ映写機の操作方法を学ぶ講習会を実施しました。
・社会教育委員会議を運営し、社会教育に係る研修会や研究会に参加しました。
・市民の読書活動を促すための研究活動を行い、社会教育委員からの発案により平成25年度においては「家読のススメ」を作成し、市内小中学校に配布しました。

成果を計る主な指標

指標の名称	前期基本計画 計画策定時（H20）	実績値（H23）	実績値（H24）	実績値（H25）	最終目標値（H25）	後期基本計画 中間目標値（H28）	最終目標値（H30）
① 市民一人当たりの学習センター年間利用回数	4.08回	4.21回	4.11回	3.85回	4.23回	4.30回	4.58回
② 団体企画提案の地域学習交流事業・市共催事業数			90件	105件		123件	133件
③ ボランティア講師登録者数	200人	199人	183人	206人	240人		

成果に対する評価と課題

・大きな修繕や工事については、建物や電気設備の保全計画に基づき行っていますが、各学習センターとも経年劣化がみられるため、今後とも適切な対応が必要となります。
・学習センターの年間利用回数やボランティア講師の登録数が目標値に達しなかったものの、市が支援又は共催した団体企画提案の事業数は増加しており、市が行う生涯学習事業（各世代対応等）や社会教育事業（現代的課題等）等においても、市民の学習ニーズに応えながら行うことで、講座への参加人数も増加しています。今後も事業のさらなる充実を図り、学習センターを利用する人や活動団体数、構成員数を増やしていく必要があります。さらに、市民の持つ知識等を地域に還元する地域学習交流事業を支援することで、生涯学習に取り組む人が増えることに繋がるものと考えられます。
・施設見学や各種実習の希望者をできるだけ多く受け入れ、児童・生徒等の総合学習を支援するとともに、より多くの利用者の参加機会を増やすため、幅広い情報提供に努め、他の教育機関との連携を更に進めていく必要があります。
・利用者の減少や視聴覚機材の老朽化・デジタル映像技術の普及等に伴い、視聴覚ライブラリーのあり方を検討する必要があります。

6－1－1　生涯学習に取り組む人が増えている

（単位：千円）

主要な事務事業の内容	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額
事務事業名	法令等の義務	実施手法	財源構成	
事務事業の目的				
地域文化振興事業			525	525
	有	直営	一財	
各学習センターを活動拠点とする団体の学習発表会など、地域住民に学習交流の場を提供して地域文化の振興を図ります。				

平成２６年度「めざす成果」施策評価シート

６－１－２　読書をする人が増えている

◎所管部長：文化スポーツ部長 金子 正美

（単位：千円）

総事業費（予算）	H23	H24	H25	H26
	175,891	163,546	159,067	1,839,988

総合計画体系		
	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	いつでも学べる場と機会を充実する
	めざす成果	読書をする人が増えている
		読書活動の環境が整い、読書をする人が増えています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）

めざす成果	施策の展開	取り組み内容	事業名	担当課
6-1-2 読書をする人が増えている	6-1-2-1 市民の間での読書活動を活発にする	① ニーズの高い図書資料や情報を整え、その入手を容易にする	図書資料貸出事業	図書館
			図書情報提供事業	図書館
			図書のリサイクル事業	図書館
		② 市民が気軽に読書活動に取り組める環境を整える	読書活動推進事業	図書館
			図書館施設維持管理事務	図書館
			新図書館施設整備事業	図書館
			図書ボランティア養成講座事業	図書館

（単位：千円）

主要な事務事業の内容	事務事業名	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額
		法令等の義務	実施手法		財源構成
	事務事業の目的				
	図書館資料貸出事業	134,103	123,225	119,878	155,705
		有	直営・委託		他・一財
	利用者が必要とする図書等資料を提供します。図書返却ポストの設置箇所を拡大します。				
	読書活動推進事業	3,130	2,883	2,806	5,152
		一部有	直営・委託		一財
	各世代にわたって、読書習慣を形成する機会を提供します。「こども読書力向上プラン」を推進して子どもの豊かな読書環境を整えます。				
	図書館施設維持管理事務	40,034	32,455	34,481	38,903
		有	直営・委託		他・一財
	施設を適切に維持管理します。				

［注釈］
＜法令等の義務＞　法律または政省令による事業実施根拠の有無
＜実　施　手　法＞　直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り
＜財　源　構　成＞　一財:一般財源　国:国庫補助金等　県:県費補助金等　市:市債　他:その他特定財源

これまでの成果

・利用者の読書・調査・研究ニーズに対応するため、様々な手段で図書資料等を収集・保存し、偏りのない充実した蔵書構成としました。新規購入や他市町村との相互貸借により、利用者が必要とする図書資料等を提供しました。
・家庭での読書（家読）を推進するため、毎月２３日を「やまと家読の日」として定め、ブックリストや家読ノートを図書館や学習センター図書室の利用者及び学校等に配布しました。
・リサイクルフェアを開催し、貸出に適さなくなった図書資料や蔵書としなかった寄贈資料を市民に無料で提供しました。
・各世代にわたって読書習慣を形成する機会を提供するため、おはなし会やブックスタートなど、こども読書力向上プランに基づく事業を実施しました。親子が気兼ねなく利用できるために設けた「こどもタイム」や、乳幼児向けの「おひざでだっこのおはなし会」などは、参加者が増加傾向にあります。
・読み聞かせやストーリーテリング等、読書活動を推進するためのボランティアの養成に努めました。
・図書館を適切に維持管理するため、整備点検や修繕等を行いました。
・図書館移転を視野に、施設のあり方や新たなサービス展開について情報収集や検討を行いました。

成果を計る主な指標

指標の名称	前期基本計画 計画策定時（H20）	実績値（H23）	実績値（H24）	実績値（H25）	最終目標値（H25）	後期基本計画 中間目標値（H28）	最終目標値（H30）
① 市民１人あたりの年間図書貸出冊数	3.90冊	4.52冊	4.60冊	4.55冊	4.23冊	5.15冊	5.87冊
② 図書館や保育所などでのお話会の延べ参加者数			1,933人	2,119人		2,340人	2,580人

成果に対する評価と課題

・貸出冊数やリクエスト件数の増加、多様化するレファレンス業務に対応するため、蔵書をさらに充実させると共に、専門的なニーズに対応できる人材の確保を進める必要があります。
・家読をさらに推進するため、定期的にブックリストを更新するなど、情報発信に努めるとともに学校等との連携を進める必要があります。
・おはなし会の参加者数は年々増加していますが、さらに親子で本に触れ合う機会を整えるため、広く市民に周知できるよう効果的な広報活動を展開します。
・市民の多様なニーズに応えるため、社会的風潮や時代傾向の変化などを読み取り、講座の内容等を工夫します。また、ボランティア講座の受講後、実際に活動しやすい環境を整える必要があります。
・図書館移転に際しては、より快適な読書環境の実現に向け、機能充実を図る必要があります。また、新図書館の蔵書構成や、新たなサービス等について検討を重ねます。
・平成２４年度からスタートした「こども読書力向上プラン」に基づき、ブックスタートや年代別のおはなし会など子ども読書推進に向けた取り組みが好評を得ており、さらにプランの実施計画の重点項目である「家読の推進」についても普及啓発活動が少しずつ成果を挙げていることから、今後も継続的な幅広い展開を進めて、より一層の読書支援を行う必要があります。

平成２６年度「めざす成果」施策評価シート

６－２－１　スポーツを楽しむ人が増えている

◎所管部長：文化スポーツ部長 金子 正美

（単位：千円）

総事業費（予算）	H23	H24	H25	H26
	344,670	353,421	677,248	485,344

総合計画体系		
	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている
		気軽にスポーツを楽しむことのできる環境が整い、スポーツ活動に参加している人が増えています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）

めざす成果	施策の展開	取り組み内容	事業名	担当課
6-2-1 ① スポーツを楽しむ人が増えている	6-2-1-1 市民の間でのスポーツ活動を活発にする	スポーツに親しめる機会を提供する	スポーツ大会開催事業	スポーツ課
			スポーツ教室開催事業	スポーツ課
			地域スポーツ推進事業	スポーツ課
		② 市民のスポーツ活動に必要な施設を確保する	スポーツセンター施設管理運営事業	スポーツ課
			野球場（つきみ野・大和スタジアム・宮久保）施設管理運営事業	スポーツ課
			野球場（下福田・下鶴間少年）施設管理運営事業	スポーツ課
			庭球場施設管理運営事業	スポーツ課
			スポーツ広場管理運営事業	スポーツ課
			宮久保スポーツ広場管理運営事業	スポーツ課
			ゆとりの森スポーツ施設管理運営事業	スポーツ課
			スポーツセンター施設大規模改修事業	スポーツ課
			学校施設スポーツ開放事業	スポーツ課
	6-2-1-2 生活の中に根ざした効果的なスポーツ施策を展開する	③ 市民、団体のスポーツ活動を支援する	スポーツ大会選手派遣事業	スポーツ課
			スポーツ活動奨励事業	スポーツ課
			スポーツ関係団体支援事業	スポーツ課
			女子サッカー推進事業	スポーツ課
		スポーツ指導者を育成する	スポーツ指導者育成支援事業	スポーツ課
		スポーツの普及振興を図るための推進体制を整える	スポーツ施策管理事務	スポーツ課

成果を計る主な指標

指標の名称	前期基本計画 計画策定時（H20）	前期基本計画 実績値（H23）	前期基本計画 実績値（H24）	前期基本計画 実績値（H25）	前期基本計画 最終目標値（H25）	後期基本計画 中間目標値（H28）	後期基本計画 最終目標値（H30）
① 日常的にスポーツを楽しんでいる市民の割合	33.2%	36.1%		33.8%	35.0%	37.1%	37.5%
② 市民１人あたりの公共スポーツ施設年間利用回数	6.12回	5.62回	5.79回	5.59回	6.30回	6.74回	6.85回
③ 総合型地域スポーツクラブの設置数			0団体	0団体		1団体	2団体

主要な事務事業の内容（裏面に続く）

（単位：千円）

事務事業名	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額
	法令等の義務	実施手法		財源構成
事務事業の目的				
スポーツ大会開催事業	4,833	4,403	4,203	4,335
	一部有	直営・委託		一財
市民の体力向上及び競技力向上を図ります。				
スポーツ教室開催事業	4,236	4,146	4,186	4,194
	一部有	委託		一財
スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供します。				
地域スポーツ推進事業			4,131	10,721
	一部有	直営		一財
市民が主体的にスポーツに参画するとともに、あらゆる世代の交流が促進されるよう、地域スポーツの推進を図ります。				
スポーツセンター施設管理運営事業	163,139	164,729	162,364	174,565
	一部有	直営・委託		他・一財
大和スポーツセンター施設の管理運営を行い、良好なスポーツ施設環境を提供します。				
野球場（つきみ野・大和スタジアム・宮久保）施設管理運営事業	48,179	47,586	47,697	53,665
	一部有	委託・指定管理		他・一財
野球場施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。				
野球場（下福田・下鶴間少年）施設管理運営事業	28,502	27,471	27,758	33,368
	一部有	直営・委託		他・一財
野球場施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。				

［注釈］
＜法令等の義務＞　法律または政省令による事業実施根拠の有無
＜実　施　手　法＞　直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り
＜財　源　構　成＞　一財：一般財源　国：国庫補助金等　県：県費補助金等　市：市債　他：その他特定財源

これまでの成果

・生涯にわたるスポーツと健康維持・増進の場と機会を提供するため、各種スポーツ教室およびスポーツ大会の開催、学校開放事業の実施と併せて、スポーツ施設の適正な維持管理を着実に進めてきました。
・また、市民の健康増進に対する意識向上を目的に、スポーツフェスタや大和市民まつりの際に各種体力テストを実施したことにより、市民が自らの体力を把握する機会を提供することができ、スポーツ・健康に対する市民の関心と意欲を高めるよう努めてきました。
・平成24年度より、スポーツ課内に地域スポーツ・女子サッカー支援担当を新たに創設し、女子小中学生を対象とするサッカー大会「大和なでしこカップ」の開催をはじめ、子どもから高齢者までを対象にスポーツの楽しさを伝える出前講座「スポーツだいすき！」の開催等、女子サッカーを基軸に据えながら、地域スポーツの振興を図ってきました。
・スポーツを通じて市民が様々な健康を享受できるようにスポーツが持つ力を最大限に活かし、「健康創造都市」にふさわしいスポーツ環境を創造するため、平成25年7月、「スポーツでつくろう　健康都市　やまと」を基本理念とする「大和市スポーツ推進計画」を策定しました。

成果に対する評価と課題

・「スポーツを楽しむ人々が増えている」の実現に向けて、市民の体力づくりや健康増進を図るために、市民を対象とした様々な参加型のスポーツ教室・スポーツ大会の開催や各種団体等への支援、スポーツ施設の整備等、より多くの市民がスポーツに親しむことができる環境を整える施策を効果的に展開しています。しかしながら、指標の1つである「市民1人あたりのスポーツ施設年間利用回数」について増加を図っていくためには、市民ニーズを的確に捉えたスポーツ教室の開催や、市民のスポーツへの関心を高める施策、またスポーツ施設の周知活動をさらに進めていく必要があります。
・「総合型地域スポーツクラブ」の創設に向けた意識啓発や創設支援策を積極的に展開し、誰もが、身近な場所で、気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整えることで、「スポーツを楽しむ人が増えている」の実現を図っていきます。
・スポーツ施設利用者のニーズが多様化していることや、近年の異常気象、建設からの年数も経過していることから、施設の改修が喫緊の課題となっています。

6－2－1　スポーツを楽しむ人が増えている

（単位：千円）

主要な事務事業の内容

事務事業名	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額
	法令等の義務	実施手法		財源構成
事務事業の目的				
庭球場施設管理運営事業	22,663	21,296	20,569	35,206
	一部有	直営・指定管理		他・一財
庭球場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。				
スポーツ広場管理運営事業	23,563	28,375	24,186	24,566
	一部有	直営・委託		一財
スポーツ広場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。				
宮久保スポーツ広場管理運営事業	5,629	5,629	5,629	5,722
	一部有	指定管理		一財
スポーツ広場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。				
ゆとりの森スポーツ施設管理運営事業	12,313	14,152	16,204	27,869
	一部有	指定管理		一財
ゆとりの森スポーツ施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。				
スポーツセンター施設大規模改修事業			72,726	60,502
	有	直営		市・一財
施設の適正な水準を維持し、安全で快適なスポーツ環境を整えます。				
学校施設スポーツ開放事業	17,126	17,579	34,874	34,583
	一部有	直営・委託		他・一財
学校施設を利用してスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供します。				
スポーツ関係団体支援事業	3,921	3,921	3,921	4,238
	一部有	直営		一財
スポーツ及びレクリエーション活動を通じて、市民の体力向上、スポーツ精神の養成、青少年の健全育成を図ります。				
女子サッカー推進事業			1,767	4,221
	無	直営		国・一財
地域スポーツの推進を図るため、女子サッカーに取り組む市民の活動を支えます。				
引地台野球場施設大規模改修事業		703	195,747	0
	一部有	直営		国・市・一財
施設の適正な機能水準を維持し、安全で快適なスポーツ環境を整えます。				

平成２６年度「めざす成果」施策評価シート

６－３－１　多様な文化や芸術を楽しむ人が増えている

総合計画体系		
	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	大和の文化を守り育てる
	めざす成果	多様な文化や芸術を楽しむ人が増えている
		様々な分野の文化芸術団体が組織されるなど、文化芸術活動が活発に行われています。

◎所管部長：文化スポーツ部長 金子 正美

（単位：千円）

総事業費（予算）	H23	H24	H25	H26
	157,336	165,486	155,885	3,777,873

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）

めざす成果	施策の展開	取り組み内容	事業名	担当課
6-3-1 ① 多様な文化や芸術を楽しむ人が増えている	6-3-1-1 市民の文化芸術活動の裾野を広げる	②④ 市民の文化芸術に対する関心を高める	文化芸術振興事業	文化振興課
			スポーツ･よか･みどり財団支援事業	文化振興課
			文化振興基金管理事務	文化振興課
			生涯学習振興基金活用支援事業	文化振興課
			生涯学習振興基金管理事務	文化振興課
			美術鑑賞推進事業	文化振興課
			音楽･演劇フェスティバル開催事業	生涯学習センター
		③ 文化創造の場となる施設の建設を推進する	文化会館建設基金管理事務	文化振興課
			芸術文化ホール施設整備事業	文化振興課
			大和駅東側第4地区公益施設開設準備事業	文化創造拠点開設準備室
	6-3-1-2 市民の文化芸術活動のレベルアップを図る	市民の創作活動を活発にする	文化芸術振興事業（再掲）	文化振興課
			文化創造担い手育成事業	文化振興課
		文化芸術団体の活動の充実と活動領域の拡大を図る	文化団体支援事業	文化振興課
	6-3-1-3 文化芸術を振興するための施策を効果的に推進する	文化芸術の振興を図るための推進体制を整える	文化芸術振興基本計画進行管理事業	文化振興課

（単位：千円）

主要な事務事業の内容（裏面に続く）		H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額
	事務事業名	法令等の義務	実施手法		財源構成
	事務事業の目的				
	文化芸術振興事業	15,604	15,863	15,932	16,232
		一部有	直営・委託		他・一
	市民の文化芸術活動の発表の場及び芸術鑑賞の機会を提供します。				
	スポーツ・よか・みどり財団支援事業	133,758	132,566	126,848	128,346
		無	直営		―
	（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団の運営を支援します。				
	生涯学習振興基金活用支援事業	488	613	624	379
		一部有	直営		他・一
	文化芸術及び生涯学習の振興、普及を図る活動を促進します。				
	美術鑑賞推進事業	531	1,268	4,017	7,546
		一部有	委託		―
	美術鑑賞教育の推進を図ります。				
	音楽・演劇フェスティバル開催事業	470	470	470	470
		有	直営		他・一
	市の文化芸術の発展のため、市内の音楽・演劇団体に日頃の活動成果を合同発表する場と相互交流の場を提供します。				
	（仮称）やまと芸術文化ホール開設準備事業		5,294	5,176	
		無	直営		―
	大和市の文化創造拠点としての役割を果たす大和駅東側第４地区公益施設を円滑に開設します。				

［注釈］
＜法令等の義務＞　法律または政省令による事業実施根拠の有無
＜実　施　手　法＞　直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り
＜財　源　構　成＞　一財：一般財源　国：国庫補助金等　県：県費補助金等　市：市債　他：その他特定財源

成果を計る主な指標

指標の名称	前期基本計画 計画策定時（H20）	実績値（H23）	実績値（H24）	実績値（H25）	最終目標値（H25）	後期基本計画 中間目標値（H28）	最終目標値（H30）
① 文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合	36.6%	42.4%		39.5%	38.0%	52.4%	56.4%
② YAMARO ART100 来場者数			105,484人	65,092人		110,000人	115,000人
③ 芸術文化ホール利用者数						180,000人	230,000人
④ 文化芸術事業（市主催・共催）来場者	4,127人	2,857人	3,353人	3,247人	4,600人		

これまでの成果

・すべての市民が文化芸術に親しむことのできる環境づくりを進めるため、大和市文化芸術振興条例の制定、計画の策定を行い、平成23年度からYAMATO　ART100や対話による美術鑑賞など新たな文化芸術振興事業を数多く展開してきました。
・この計画の運用を契機に、成果を計る指標は上昇傾向となり、「芸術や文化活動が盛んに行われていると思う市民の割合」は、平成20年度の36.6%から平成25年度には39.5%と約3ポイント増加しました。
・「文化芸術事業の来場者数」について、一部の事業の開催場所を平成22年度から変更したことで減少しましたが、計画運用以降は増加傾向にあり、平成22年度と比較して平成25年度は700人以上増加（2,539人→3,247人）しました。
・また、平成25年度に実施した「文化芸術に関する市民アンケート調査（ｅモニター）」においても、前回調査した平成20年度と比べ、「年に1回以上文化芸術の鑑賞を行った市民の割合」は13ポイント（61%→74%）、「文化芸術活動を行う市民の割合」は11ポイント（24%→35%）の上昇という結果となりました。
・市民の文化芸術活動のレベルアップを支援するために、6つの分野（書・絵画・写真・短歌・俳句・川柳）の一般公募展やストリートダンスのコンテストに加え、全国の若者を対象としたイラストレーションのコンペを新たに開催するなど、市民の「競い」の場と機会の充実を図りました。
・文化創造拠点（大和駅東側第４地区公益施設）について、関連条例の整備、指定管理者の選定等に向けた準備を進めました。

成果に対する評価と課題

・「多様な文化や芸術を楽しむ人が増えている」を達成するための施策は、着実に成果を生み出しており、現時点では、効果的に展開されているものと考えています。
・今後は、必要に応じて運用の改善を行いながら、施策の定着化、深化を図るとともに、さらなる成果を上げるため、次の事項を課題として捉え、重点的に取り組んでいきます。
①日常的に文化芸術に親しむことのできる機会づくり
子ども、外国人、障がいのある方、小さいお子さん連れの方など、文化芸術に興味があっても、触れる機会が持てない市民や遠方への移動が困難な市民に対する取り組みを充実していきます。
②文化芸術拠点の役割を果たすための管理運営の実現
平成28年度に開館する芸術文化ホールが文化芸術の拠点としての役割を果たすことができるよう、効果的な管理運営の手法、体制を構築します。
③文化芸術に関する情報発信力の強化
SNSやスマートフォン等の携帯情報端末など、新しい情報通信技術の活用も視野に入れながら、幅広い年齢層、多様な言語に対応した文化芸術情報の発信に取り組みます。
・文化創造拠点（大和駅東側第４地区公益施設）について、複合施設としての効果を最大限発揮するための管理運営体制を整えることが必要です。

６－３－１　多様な文化や芸術を楽しむ人が増えている

（単位：千円）

主要な事務事業の内容

事務事業名	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額
	法令等の義務	実施手法		財源構成
事務事業の目的				
文化創造担い手育成事業	778	1,371	1,313	1,816
	一部有	直営		他・一
これからの文化創造を牽引する若い世代の発表活動の支援を行うとともに、市民が日常生活の中で文化芸術を感じ、楽しめる機会を提供します。				

平成２６年度「めざす成果」施策評価シート

６－３－２　郷土の文化がしっかりと引き継がれている

◎所管部長：文化スポーツ部長 金子 正美

（単位：千円）

総事業費（予算）	H23	H24	H25	H26
	81,683	45,762	45,892	46,773

総合計画体系		
	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	大和の文化を守り育てる
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている
		歴史的価値のある資料が体系的に整理され、それを展示する施設を多くの人が利用しています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）

めざす成果	施策の展開	取り組み内容	事業名	担当課
6-3-2 ① 郷土の文化がしっかりと引き継がれている	6-3-2-1 大和市の文化財の価値や特徴を保つ	文化財を適切に保存し、市民が活用できるようにする	有形文化財保護事業	文化振興課
			無形文化財保護事業	文化振興課
			民俗文化財保護事業	文化振興課
			史跡・天然記念物保護事業	文化振興課
			指定文化財保護支援事業	文化振興課
			歴史資料提供・相談事業	文化振興課
		開発等によりやむを得ず失われてしまう文化財を記録する	埋蔵文化財保護事業	文化振興課
		文化財、歴史資料の保存、管理等を適正な方法で行う	文化財保護審議会等運営事務	文化振興課
			文化財保護管理事務	文化振興課
			文化財保管施設維持管理事業	文化振興課
			歴史的公文書収集整理事業	文化振興課
			地域歴史資料整理・保存事業	文化振興課
	6-3-2-2 地域の文化財や歴史に関する理解を高める	郷土の文化に係る情報を市民に向けて広く発信する	文化財普及啓発事業	文化振興課
			大和市市史編集発刊事業	文化振興課
		② 市民が文化財に触れる機会を創出する	郷土民家園管理運営事業	文化振興課
			つる舞の里歴史資料館維持管理事務	文化振興課
			つる舞の里歴史資料館運営事業	文化振興課
			下鶴間ふるさと館維持管理運営事業	文化振興課

（単位：千円）

主要な事務事業の内容	事務事業名	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額
		法令等の義務	実施手法		財源構成
	事務事業の目的				
	歴史的公文書収集整理事業	40,357	3,736	3,775	4,387
		有	直営		一財
	歴史的公文書を収集・保管し、市民への情報提供を行います。				
	地域歴史資料整理・保存事業	1,865	1,898	2,106	2,086
		有	直営		一財
	地域の歴史的資料などを市民共通の財産として有効利用を図ります。				
	郷土民家園管理運営事業	9,464	9,183	9,361	8,426
		有	指定管理		一財
	市指定文化財である郷土民家園施設を適切に維持管理します。				
	つる舞の里歴史資料館運営事業	2,127	4,877	3,471	3,530
		有	直営		一財
	市民が気軽に郷土の身近な文化財に触れることができ、歴史的な探究心に応えられる機会を提供します。				
	下鶴間ふるさと館維持管理事業	3,005	3,413	3,495	4,953
		有	直営		他・一財
	下鶴間ふるさと館で市民が地域史を学べたり、近世の暮らしに親しめるようにします。				

［注釈］
＜法令等の義務＞　法律または政省令による事業実施根拠の有無
＜実　施　手　法＞　直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り
＜財　源　構　成＞　一財：一般財源　国：国庫補助金等　県：県費補助金等　市：市債　他：その他特定財源

これまでの成果

・有形民俗文化財（民俗資料）の保存及び整理作業を進めるとともに、無形民俗文化財については、将来へ伝えるための資料となるよう映像等による記録保存を行いました。
・史跡・天然記念物が将来へ引き継がれるよう、保存の措置を講じました。
・埋蔵文化財の取扱に関する年間約1000件の協議の中から、埋蔵文化財包蔵地内で実施される工事については、行政指導、発掘調査を行い、記録保存されるように努めました。
・市が作成する文書などから歴史的公文書を抽出し、歴史資料として、将来に伝えられるよう整理・保存の措置を講じ、活用までの道筋を準備しました。
・地域に存在する各種歴史資料については、将来に引き継げるよう保存処置を施し、資料の解読などを進め、活用の準備を行いました。
・つる舞の里歴史資料館ではつるまい土曜講座を開催しています。特に受講者参加型講座が好評を得ており、市民に定着した講座として親しまれています。また、郷土民家園・つる舞の里歴史資料館・下鶴間ふるさと館（歴史文化施設）の合同企画事業を年間2回程度実施するなど、施設の個性や魅力を伝えるように努めました。

成果を計る主な指標

指標の名称	前期基本計画 計画策定時（H20）	前期基本計画 実績値（H23）	前期基本計画 実績値（H24）	前期基本計画 実績値（H25）	前期基本計画 最終目標値（H25）	後期基本計画 中間目標値（H28）	後期基本計画 最終目標値（H30）
① 大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合	35.8%	41.5%		39.2%	37.0%	42.5%	42.9%
② 歴史文化施設の利用者数	40,999人	67,621人	48,339人	41,405人	43,500人	50,300人	51,300人

成果に対する評価と課題

・有形民俗文化財及び無形民俗文化財は、資料整理及び記録保存等を継続していく必要があります。
・県指定天然記念物大和のシラカシ林については、所有者と借地契約を結び、市が保存管理者となりましたが、将来的にわたって確実に継承していくためには指定地を用地買収し、公有地化することも視野にいれる必要があります。
・埋蔵文化財保護事業においては、引き続き、行政指導、発掘調査及び記録保存を図る必要があります。
・毎年収集する歴史的公文書を資料整理し、保存の措置を講じます。また、個人で保管されている地域資料を順次借用し、目録作成や保存処置等を講じたうえで返却し、引き継いでいけるようにします。
・歴史文化施設の利用者については、平成23年度以降、利用者が減少しており、目標値に達していないことから、今後も、施設の個性や魅力を伝え、多くの人が訪れるよう企画内容や展示テーマを検討し取り組む必要があります。